

顕現後第5主日特祷

主よ、あなたを呼び求める御民の祈りを、いつくしみをもってお聞きください。どうか私たちが行うべきことを悟り、それを忠実に成し遂げる恵みと力とをお与えください。私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 イザヤ書58章1－9節 a 《9b—12節》

58:1 喉をからして叫べ。抑えてはならない。角笛のように、あなたの声を上げよ。私の民にその背きの罪を、ヤコブの家にその罪を告げよ。2 彼らは日々私を尋ね求め、私の道を知ることを喜ぶ。正義を行い、神の法を捨てない国民のように、彼らは正しい裁きを私に尋ね、神に近づくことを喜ぶ。3 「なぜ、私たちが断食をしても、あなたは見てくださらず、苦行をしても、知ってくださらないのですか。」見よ、あなたがたは断食の日に楽しみを見つけ、あなたがたのために働く者を虐げている。4 あなたがたは争いといさかいのために、不正の拳で殴るために、断食している。今日のように断食しているのは、自分の声を高みで響かせるためではない。5 このようなものが私の選ぶ断食、苦行の日であろうか。葦のようにその頭を垂れ、粗布を敷き、灰をまくことなのか。これを、あなたは断食と呼び、主に喜ばれる日と呼ぶのか。6 私が選ぶ断食とは、不正の束縛をほどき、軛の横木の縄を解いて、虐げられた人を自由の身にし、軛の横木をことごとく折ることではないのか。7 飢えた人にパンを分け与え、家がなく苦しむ人々を家に招くこと、裸の人を見れば服を着せ、自分の肉親を助けることではないのか。8 その時、曙のようにあなたの光は輝き出し、あなたの傷は速やかに癒やされる。あなたの義があなたを先導し、主の栄光があなたのしんがりを守る。9 その時、あなたが呼べば主は応え、あなたが助けを求めて叫べば、「私はここにいる」と言われる。《もしあなたの中から、軛を負わせることや指をさすこと、悪事を語ることを取り去るなら、10 飢えている人に心を配り、苦しむ者の願いを満たすなら、闇の中にあなたの光が昇り、あなたの暗闇は真昼のようになる。11 主は常にあなたを導き、干上がった地でもあなたの渴きを癒やし、骨を強くされる。あなたは潤された園のように、水の涸れない水源のようになる。12 あなたがたの中のある者は、とこしえの廃虚を建て直し、代々に続く礎を据える。あなたは「城壁の破れを直す人」、「住めるように道を修復する人」とも呼ばれる。》

詩 編 第112篇1～10節

- 1 ハレルヤ。幸いな者 || 主を畏れ、その戒めを大いに喜ぶ人
- 2 彼の子孫はこの地で勇士となり || 正しい人々として祝福される
- 3 その家には富と宝があり || 彼の正義はいつまでも続く
- 4 正しい人には闇の中にも光が昇る || 恵みに満ち、憐れみ深く、正しい光が
- 5 恵みに富み、貸し与える人は良い人 || その人は公正に事を行う

- 6 決して揺るがされることなく || 正しき人としてとこしえに記憶される
7 悪評も恐れず || その心は主に固く信頼している
8 その心は堅固で恐れず || ついに彼は敵を見下すに至る
9 貧しい人々には惜しみなく分け与え、その正義はいつまでも続く || 彼の角は栄光の中、高く上げられる
10 悪しき者はそれを見て怒り、歯ぎしりして消え去る || 悪しき者らの野望は滅びる

使徒書 コリントの信徒への手紙一 2章1－12、《13－16》節

2:1 きょうだいたち、私がそちらに行ったとき、神の秘義を告げ知らせるのに、優れた言葉や知恵を用いませんでした。2 なぜなら、あなたがたの間でイエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。3 そちらに行ったとき、私は衰弱していて、恐れに捕らわれ、ひどく不安でした。4 私の言葉も私の宣教も、雄弁な知恵の言葉によるものではなく、霊と力の証明によるものでした。5 それは、あなたがたの信仰が人の知恵によらないで、神の力によるものとなるためでした。

6 しかし、私たちは、成熟した人たちの間では、知恵を語ります。それはこの世の知恵ではなく、また、この世の無力な支配者たちの知恵でもありません。7 私たちが語るのは、隠された秘義としての神の知恵であって、神が私たちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。8 この世の支配者たちは誰一人、この知恵を悟りませんでした。もし悟っていたら、栄光の主を十字架につけはしなかったでしょう。9 こう書いてあるとおりです。「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神はご自分を愛する者たちに準備された。」10 私たちには、神は霊を通してこのことを啓示してくださったのです。霊はあらゆることを、神の深みさえも究めるからです。11 人の内にある霊以外に、一体誰が人のことを知るでしょう。同じように、神の霊以外に神のことを知る者はいません。12 私たちは世の霊ではなく、神の霊を受けました。それで私たちは、神から恵みとして与えられたものを知るようになったのです。

《13 この賜物について語るにも、私たちは、人の知恵が教える言葉ではなく、霊が教える言葉を用います。つまり、霊によって霊のことを説明するのです。14 自然の人は神の霊に属する事柄を受け入れません。その人にとって、それは愚かなことであり、理解できないのです。霊に属する事柄は、霊によって初めて判断できるからです。15 霊の人は一切を判断しますが、その人自身は誰からも判断されたりしません。16 「誰が主の思いを知り、主に助言するというのか。」しかし、私たちは、キリストの思いを抱いています。》

福音書 マタイによる福音書5章13－20節

5:13 「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられようか。もはや、塩としての力を失い、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができ

ない。15 また、灯をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家にあるすべてのものを照らすのである。16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かせなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるようになるためである。」

17 「私が来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っではならない。廃止するためではなく、完成するためである。18 よく言っておく。天地が消えうせ、すべてが実現するまでは、律法から一点一画も消えうせることはない。19 だから、これらの最も小さな戒めを一つでも破り、そうするようにと人に教える者は、天の国で最も小さな者と呼ばれる。しかし、これを守り、また、そうするように教える者は、天の国で大いなる者と呼ばれる。20 言っておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。」